

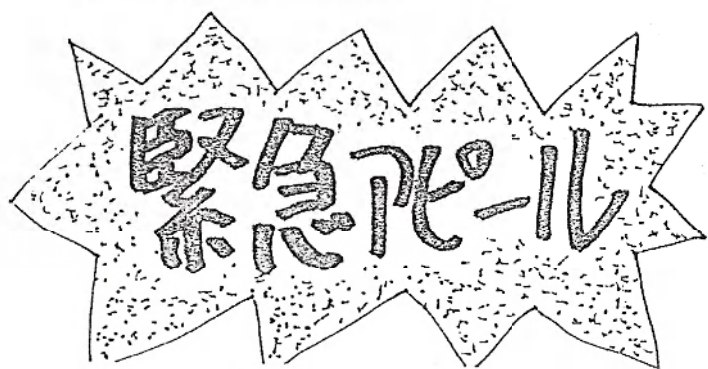
Weeds

1989 8.9 発行

くまもと障害者労働センター通信

〒862 熊本市保田窪本町94

TEL 096-382-0861



助成金が危い!!!

▶センターの飛躍をかけた助成金です。
支援を、どうぞお願いします◀

残暑おみまい申し上げます。

労働センターも、5年目の夏を迎えました。

”いつつぶれてもおかしくない”ゼロからの出発でしたが、ふりかえってみると、コンサート、甘夏やリンゴの産直、粉石けん等の販売、生活保護の取りくみ、昨年5月からの牛乳パックのリサイクルと、山あり谷ありのゆっくりとした歩みでしたが、出会いと支援の広がりがあります。

そして、昨年は、国と県、市に「在宅重度障害者通所施設援護金」（通所小規模作業所助成金）を申し込み、熊本市内で最初に（同時にもう一ヶ所）審査を通過して、国から70万の助成金をもらいました。この市）助成金制度は、国、県から各80万ずつ、市から70万、3年間でメドとしているので、これをバネに売り上げを伸ばし運営を安定させ、もっと多くの仲間をむかえられるよう必要なら新たな事業も検討して・・・と、3年後を展望しつつ、販売の見直しや予算の作成、組織の整理をすすめるなど意気があがっていました。

ところが　ところが・・・どうも危ないのです。今年は書類の審査だけでなく、県と窓口である身障連からセンターを見に来るというのです。見直しの理由としては運営の責任体制があいまい、助成をうけるのに必要な「概ね10人以上19人未満」という人数の規定を満たしていないのではないか、というのです。

確かに、「健常者」が運営の責任をもち、指導員が毎日の作業のおぜんだてをする作業所のイメージからみると、労働センターはちょっとかわっていて話がすぐ通じる「健常者」がそこからは見えなくてあぶなっかしく見えるのかもしれませんが。

でも、センターがこれまでやってこれたのは、熱い支援の広がりのお陰です。運営の責任をまず第一にセンターの障害者自身が負い、運営委員会や、販売の協力者、牛乳パックのつながり、ボランティアなどが支援するというセンター原則を、組織的に整理し力量をさらにたかめて行くことが、今後の課題だと考えています。

また人数に関しても、これまでは賃金もなく、むしろ身ぜにをきって販売や交流に出かけていくという状態でしたから、出入り自由というふうで、時間などはあまりきびしくしていませんでした。とにかく、センターは支援に支えられて5年間自力でやってきました。そしていまも動いています。その動きは、助成金の主旨から決してはずれて居ないはずなんです。この動きの努力の過程をみてほしいのです。

視察のときに短時間でどうやってこのことを伝えようか
どうか、みなさんの口からもこれまでのかかわりでみえた労働センターのいろいろな側面を行政の方たちに語って欲しいのです。
お盆の前後すぐだと思います。ここいちばんの支援、どうぞお願いします。



粉石鹸の売り上げ目標月150個!!

＝販売の月例化にとりくみます＝

センターの粉石けん等の販売には、2つのやり方があります。

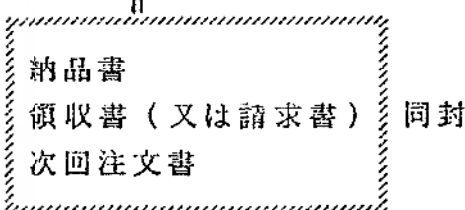
1つは、学校や職場などで担当者を決めてもらって、注文や集金を取りまとめてもらう「委託販売」。もう1つは、研究会や写真会などの催しに出かけて行って、その場で売る「出張販売」です。

夏は、いろんな催しの季節。センターもこのところ、東へ西へと出張販売出かけていく毎日です。「委託販売」も、新しいところが増えたりして喜んでいます。これまでセンターの対応の不十分さもあって、なかなか定期化しませんでした。

今年の売上目標を達成し、センターの運営を安定させるには、「委託販売」が1ヶ月サイクルで定期化し、いつもセンターの石けんやお茶を使ってくれる固定客が増えることが必要です。

そこで、8月から下のようなサイクルで、毎月お願いしたいと思います。特に、担当者の方にはお手数をかけますが、どうかよろしくお願いします。

毎月10日まで———10日～20日———20日～月末まで
注文書返送 商品発送 送金、振込



販売取扱品変更のお知らせ

センターの取扱商品が一部変わりました。

好評だったネットソーブが 残念ながら製造中止になり 取り扱いできなくなりました。代わってハイム石鹸ハミガキ 300円 と グレース石鹸シャンプー 500円 レモンリンス 300円の3品を取り扱うことになりました。

8月から取扱始めました。石鹸派の人びとに愛用されている無公害トリオです。どうぞよろしくご注文下さい。

